



北海道北見柏陽高等学校同窓会「東京かしわ会」2023 年度会報  
発行日 2023 年 7 月 31 日  
発行所 北海道北見柏陽高等学校同窓会 東京かしわ会  
著作 敬明 神奈川県川崎市麻生区岡上 6-7-14

創立 106 周年記念植樹 (2023 年 4 月 28 日)

## 二〇二三年度東京かしわ会総会・

### 懇親会の開催に当たって

東京かしわ会会長 若作敬明

東京かしわ会の皆さま こんにちは。  
3 年有余続いた新型コロナウイルス感染症も  
5 月でインフルエンザ並みとなり、コロナ禍前  
の生活が徐々に戻りつつある今日この頃です  
が、皆さま如何お過ごしでしょうか。

昨年は、かしわ会東京支部創立 30 周年の節  
目の年にあたり、コロナ禍ではありましたが、  
万全な感染防止対策をとり開催いたしました。  
当日は 50 名の方の出席を頂き、創立 30 周年  
を盛大にお祝いすることができました。

記念講演として、8 期の藤澤賢二様から大変有  
意義なお話を頂き、かしわ会東京支部の意義と  
絆を改めて心に誓ったところです。

また、名称を「東京かしわ会」に変更する案、  
及び「会員様への年会費お願いの案」を、満場  
一致で可決することができました。

また、在校「放送局」の協力による母校の行事  
映像、お楽しみ抽選会、21 期古賀さんの「北  
見のひとよ」を全員で歌い、15 期四十物さん  
の中締めに進み、最後に全員で記念写真を撮り  
来年の再会を誓い散会となりました。

早いものであれから 1 年、今年もふると北見  
柏陽高校の地で育んだ仲間と一堂に会し、更な  
る絆を深める機会がやってきました。  
皆さまのご参加をお待ちしております。

## 二〇二三年度総会・懇親会開催される

(二〇二三年十月十六日)

於 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

二〇二二年度「かしわ会東京支部」総会・  
懇親会が 3 年ぶりにアルカディア市ヶ谷(私  
学会館)を会場に 50 名の参加者を得て盛大  
に開催されました。

総会は、校歌斉唱に始まり若作支部長の挨拶、  
来賓者のご紹介、来賓者を代表して「かし  
わ会」本部長川会長の挨拶、青木校長先生  
の挨拶を頂き、その後当期役員より二〇二  
一年度の活動・会計報告がなされました。

また今回、会の名称変更、年会費のお願い  
について満場一致で承認されました。  
続いて懇親会が開催され、3 年ぶりですが、  
懇親を深めることができました。



30 周年記念講演  
8 期生 藤澤賢二さん



かしわ会本部  
外川会長挨拶



総会・懇親会参加者全員の記念撮影

# 2023年度 東京かしわ会総会の開催に寄せて

東京かしわ会総会に寄せて

北海道北見柏陽高等学校同窓会

かしわ会会長 舛川 誠

東京かしわ会の皆様ご無沙汰しております。この原稿は6月最後の週末に書きました。新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に移行してから2カ月が経とうとしています。マスク着用から解放される時間が少しずつ長くなり、社会全体がこれまでの日常に戻りつつあることを感じる最近であります。コロナ禍の影響も残り、静かなる有事とも表現される少子化など癒えぬ傷を抱えながらも前を向いて歩むしかないと思っております。

母校北見柏陽は5月1日に創立100周年を迎えました。学校正門にはシンボルマークをあしらった100周年記念看板を設置しています。学校に行つて写真を撮ってきたのは日曜日、生徒たちは休日返上、恐らくこれからは夜遅くまで名物の行灯製作に各クラス、丸となつて取り組むのだと思います。懐かしい光景です。

現在の柏陽の定員は1学年200名(5クラス)、間口が減り続けてきているとはいえ、まだ定員を満たしているのが活気を維持出来ています。北見市内でも昔は部活が盛んで強かった学校も、定員割れから単



【日曜返上で行灯作り】

独での活動が出来なかつたりしています。生徒たちにはメイン行事となる10月7日の記念式典まで、様々な形で100周年を体感してもらい、楽しみながら周年の盛り上げに役買ってもらいます。生徒たちが活躍する10月7日(土)の記念式典にお誘い合せてお越しくださいますようお願い申し上げます。会長としてのご挨拶とさせていただきます。



【創立100周年! 柏陽祭も盛り上げます】

東京かしわ会の皆さんへ

札幌かしわ会会長 中村 敬臣

東京かしわ会の皆さん、お元気でお過ごしのことと思います。我が母校北見柏陽高校が、1923年(大正12年)に野付牛女学校として、創立以来今年5月に満百歳を迎えました。



柏魂陽心、文武両道を唱える逞しくも明るく自由な校風は、どこの学校にも負けません。今の校舎は改築されたものですが、旧校舎も古いなりに中々味があつて、1年後輩の女性が「私はあのピンクの校舎に憧れて入学しました」と語っていたのをよく覚えています。

私は水泳部所属でしたが、高校時代の一番の思い出は、3年生のときに野球部が甲子園に出場したこと。春の選抜優勝校に負けはしましたが、新調したあのオホーツクブルーのユニフォームが甲子園を駆け巡った光景は、今でも目に焼き付いています。

今年の野球部チームは、先発メンバーがほぼオール2年生とのこと。この成長期の軍団が、この記念すべき年に夢が再現できたなら、こんなにも嬉しいことはありません。

また、100周年の今年、我が「札幌かしわ会」も実に4年ぶりで11月に同窓会を開催する予定です。この間、皆4歳年を取ったわけですが、コロナ禍を克服した「柏魂陽心」の仲間たちにお会いできるのを今からとても楽しみにしているところです。

## 「創立百周年を迎えて」

北海道北見柏陽高等学校長 後藤 慎和

東京かしわ会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より母校の教育活動に對し格別の御理解と御支援をいただき、厚くお礼申し上げます。



まず、この紙面をお借りし着任の挨拶をさせていただきます。本年4月1日付で留萌管内の天塩高校から異動してきました。これまでオホーツク管内では、雄武町と網走市の高校で勤務経験があり、この地で三度勤務できますことに深い縁を感じております。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、本校は本年創立百周年の節目を迎えました。これまで、外川誠協賛会会長をはじめ「かしわ会」の皆様方から多大なる御支援・御協力等を賜り厚く御礼申し上げます。

『この輝きを未来へ紡ぐ』をテーマに、生徒たちが主役として主体的に携わる百周年事業となるよう準備を進め、先日4月28日(金)には満開の桜のもと、記念植樹等のオープニングセレモニーを行いました。引き続き10月7日(土)の記念式典に向けて準備を進めて参ります。

最後に、東京かしわ会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝を御祈念しつつ、本校に對し変わらぬ御支援と御愛顧を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

## トピック

## 活動報告①

美術部顧問 茂木 怜成

美術部は、3年生16人、2年生9人、1年生15人の計40名で活動しています。毎年、高文連全道大会出場を部員1人1人が目標とし、和気あいあいと部員全員で楽しみながら制作を行っています。昨年度は3年生が、全道大会で作品が評価され、全国大会である東京総文祭に出場することが出来ました。8月初めの開催でとても熱い中での総文祭でしたが、全国の作品を直接見ることと多くの学びと刺激を受け生徒にとって、とても学びのある遠征となりました。

全道展・支部大会・全道大会・有島武郎青少年公募絵画展・U21道展といった大会や公募展に向けて、油絵具や水彩絵具鉛筆を使って作品制作を行っています。また、北見支援学校訪問会・北見高校生美術展といった地域や近くの高校と協力しながら企画・制作する活動も行っています。



最近、毎年美術大学に進学を目指す生徒も増えており、部活動の活動以外でも、デッサンや着彩など実技試験に向けた練習も行っています。

今後、部員の明るい雰囲気や作品や活動を通して広がっていくよう、美術部一同精進してまいります。今後とも同窓会の皆様のご指導の程よろしくお願いいたします。

## トピック

## 活動報告②

10年のあゆみ

女子ソフトテニス部監督 小林 達史

近年(ここ10年ほど)の活動を報告させていただきます。

女子ソフトテニス部は、この10年で77名の卒業生を送り出し、高体連オホーツク支部大会では5年連続団体優勝、個人8連覇と、支部をリードするチームとなっています。

全国大会には、平成27年(2015年)に全日本シングルス選手権出場(伊東礼佳選手)を皮切りに、令和元年(2019年)に第48回ゴースン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2019(ダブルス鶴田聖那・森谷美月ペア、シングルス鶴田聖那選手)が出場しました。



コロナ禍によってインターハイをはじめその他の全国大会が相次いで中止となるなか、令和3年には第50回ゴースン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2021においても北海道代表(シングルス八鍬優音選手)を輩出しています。

ここまで輝かしい成績を収めることができたのは、東京かしわ会の皆様のバックアップがあつてこそ思っております。

これからも北見柏陽高校の伝統を継承しそれを力に変え、立派な「庭球人」を目指し、選手一同粉砕身の思いで努力して参ります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 会員メンバー便り

## 「人との出会い」

20期 東 達男

北見柏陽高校を卒業して丸53年になる。

卒業後、札幌で大学受験を目指し姉の家に居候しながら予備校に通っていた。一浪目は失敗し、二浪目に姉の元を離れ、新聞販売店に住み込みながら予備校には行かず受験勉強を続けていた。しかし、新聞配達の仕事と受験勉強の両立ができず、止む無く挫折し退学に帰った。

釧路にある「学研釧路支社」の試験を受けるも敢え無く就職試験に落ちる。

この時、半ば大学受験を諦めていたが、高校の同級生から手紙をもらう。

手紙の文面には「長い人生、そんなに急いでどうする。自分の進むべき道に向かって、頑張れ」と書かれていた。

また、高校1年生の担任が兄玉健次先生だったが、教室の黒板の上の壁に一枚の色紙が飾られていた。

「学ぶとは誠実を胸に刻むこと。教えるとはともに未来を語ること」

その時はあまりその意味を理解していなかったが、同級生の言葉と、色紙の文言を思い起し、遠回りしても良いから教師になりたいと思った。

多分、兄玉先生との出逢いがなければ、その後の教師への道はなかったように思う。

浪人時代に読んだ本で「二十歳の原点」を思い出し、その本の著者「高野悦子」さんの通っていた立命館大学に行こうと思った。高校の同級生が立命館大学に入学していたのでその下宿に転がり込んだ。そして夜間部に入学した。

現在、半世紀の間「京都」で生活している。教師生活33年、定年退職後も通信制高校に通う生徒の学習支援を10年間続けている。

教師の道を開いてくれた兄玉先生と7、8年前に札幌で会うことができたが、2021年に亡くなられたことを新聞の記事で知った。



【左側：兄玉先生 右側：東さん】

## 【編集者からの情報①】

柏陽高校「放送局」では、音声装置のみの陳腐化した機材から、昨年度100周年事業を見据えて映像機能を含めた新しい機材が導入されました。

昨年度の総親会には「放送局」の皆さんのご協力を頂き、校内の様子などを編集し映像を制作して頂きました。懇親会では、参加者の皆様へ映像見て頂きました。

・高田先生、局員の皆さん ありがとうございます。  
・昨年度に引き続き本年NHKコンテスト全道大会部門優勝、全国大会へ進みました。(2年連続です)

■今年も放送局からの映像を楽しみにしています。

## 【編集者からの情報②】

柏陽高校では、4月28日(金)、100周年記念事業でデザインをして頂いた大上一重さんをお招きし、講演をして頂きました。

その後記念植樹が行われ、協賛会役員の方、生徒たちの手で桜の苗の植樹を行いました。(1ページ目上段写真)



## 【大上一重さん】

・東京都在住のデザイナー  
・33期生

## ■2023年度役員紹介

昨年度の総会にて紹介していただきましたが、本年も引き続き宜しくお願い致します。

●会長



佐藤 敏明(20期)

副会長



千田 潤(20期)

副会長



小竹利和(20期)

副会長



古賀恵美子(21期)

●幹事長



岡崎 誠(22期)

副幹事長



境 康(27期)

副幹事長



豊嶋 孝一(27期)

●会計



菅野 一彦(28期)

会報担当



横坂 雅(24期)

●会計監査 堀名 孝典(18期)、高島 正志(18期)

## ■2022年度活動報告、および承認事項

## ●活動報告

- ・会報発行
- ・総会
- ・懇親会

## ●会計報告(2022年度)

|        |          |
|--------|----------|
| ・前期繰越金 | 20万6334円 |
| ・収入計   | 72万9000円 |
| ・支出計   | 68万7913円 |
| ・次期繰越金 | 24万7421円 |

## ●承認事項

- (1)名称変更:「かしわ会東京支部」→「東京かしわ会」
- (2)年会費のお願い:会員の皆様へ1,000円/年のお願ひ

## 【編集後記】

皆さま「おー!柏陽」2023をお届けします。

今回表紙を飾ったのは、4月28日に開催された創立100周年記念植樹の1コマです。これからすくすく育ち10年後20年後が楽しみです。

今年は創立100周年の節目です。「コロナ禍」も過ぎ去り徐々に3年前の景色に戻りつつあり、生徒達の皆さんには、これから全力投入で頑張ってもらいたいと思います。

お忙しい中、原稿をお寄せくださいました方々、ありがとうございます。

昨年に引き続き今年も「総会・懇親会」の開催ができ皆様にお会いできますことを役員一同祈願しております。

横坂 記

# 創立100周年記念に寄せて

創立100周年にあたり

北海道北見柏陽高等学校

創立100周年記念事業協賛会

会長 舩川 誠

懐かしの我が母校北見柏陽が、本年5月1日に100年の時を刻みました。先立つ4月28日に創立100周年オープニングセレモニーを行いました。歴史を振り返るお祝いではなく、これまでに敬意を払い、これから目を向けた発想を持たせることにした100周年。一本の糸のように紡いできた100年の歩みの上に輝きを放つ今の生徒たちを主役とし、この輝きをこれからも紡ぎ続けて欲しい、そのために時々の在校生が輝いている北見柏陽であり続けて欲しい、そんな想いで取り組んでまいりました。

セレモニーでは「100周年メッセージ」として、私がこの100周年に想うこと、一人の先輩として高校での3年間が人生においていかに大切な時間であるかということをお話しさせていただきました。話をしている途中、不覚にも高校時代の記憶が蘇り、こみ上げるものを押さえられない場面がありました。生徒たちは、そんな素を晒した私の話をしっかりと受け止めてくれたものと思っております。



【舩川会長の100周年メッセージ】



【創立100周年シンボルマーク】



【生徒会執行部の皆さんとの記念撮影】

また、当日は周年記念品目録贈呈式や生徒・教職員への周年記念デザイングッズの進呈、シンボルマークをデザインしていただいた大上一重さん（33期）による卒業生講話、午後からは全生徒が参加して行った100周年記念植樹や生徒会企画による人文字ドローン撮影など盛沢山の一日となりました。

東京かしわ会さんからいただきました祝電は、後藤校長が生徒たちに披露してくれました。お心遣いに感謝申し上げます。生徒が企画発案した事業や記念講演会の開催、メイン行事となる10月7日の記念式典など、周年記念事業もこれから佳境を迎えます。生徒たちの記憶に刻まれる1年にしたいと思っておりますので、引き続き東京かしわ会の皆様の絶大なるご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。



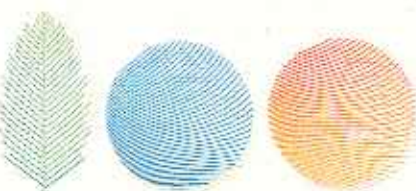
【生徒会企画：人文字ドローン撮影】



【全校生徒：583名】



【1～3年生による記念植樹】



HOKKAIDO KITAMI  
HAKUYO  
HIGH SCHOOL SINCE 1923

# 北海道北見柏陽高等学校 創立100周年

～ この輝きを未来に紡ぐ ～

学校開校/大正12年6月1日

創立100周年を迎える「北見柏陽」の「歴史と伝統」そして「今、この輝き」を未来へ紡ぐには、  
今を築いている柏陽生！人！人の輝きが必要で、  
生徒の個性と能力を活かすことを大切にして周年記念事業を行います。

記念式典 令和5年10月7日(土) 午前挙行  
■北見市民会館大ホール  
祝賀会 令和5年10月7日(土) 午後開催  
■ホテル黒部2階「富士」

「行ずはほろけし」生徒たちに贈る  
北見柏陽100周年記念講演会  
令和5年8月11日(月) 午後2時開演  
■北見市民会館大ホール  
講師 青山学院大学 神学部神学教育 原 晋 氏  
テーマ 若たちの人生を輝かせるために  
一歩前進する力に変える私たちの心  
●大規模行事の運営をサポートする人の仕事について話します。

校歌 柏魂 陽心 (柏てんやうしん)  
昭和27年4月1日制定  
柏の木のまわりをくまなくまわって柏の葉を  
太陽のようになびく柏の葉を



後継 柏和

今年、北海道北見柏陽高等学校創立100周年を迎えました。  
これまで地域のみなさまから頂戴したご支援と御厚情に  
心より感謝申し上げます。これからも地域の発展、文化  
の発展、そして柏陽生たちの未来のために尽力してまいります。



後継 柏和

北海道北見柏陽高等学校  
創立100周年記念事業委員会 代表 鈴木 誠  
北見柏陽100周年への想いを伝えるために、あなただけの  
「柏の木のまわりをくまなくまわって柏の葉を太陽の  
ようになびく柏の葉を」を、柏陽生たちの未来に、その  
地域の発展に、そして100周年にむけて、あなただけの

昭和12年10月1日  
北海道庁に移管。  
北海道立北見柏陽高等学校に改称

昭和31年3月4日  
北見柏陽中学校と北見女子高等学校の設置認可

昭和39年6月6日  
北海道庁から北海道立北見柏陽高等学校に改称

昭和25年4月1日  
男女共学の定章により、  
北海道立北見柏陽高等学校に改称

昭和23年4月1日  
学制改革により、北海道立北見女子高等学校に改称

平成13年4月1日  
山手倉庫がテナント化  
プレザーエの創設となる

平成23年4月3日  
青森県立北見高等学校  
(全学舎無償貸付)

令和5年10月7日  
創立100周年記念式典挙行(2夜)

令和5年5月1日  
あけびままで本日創立100周年!



北海道北見柏陽高等学校 北見市柏陽町 567 番地  
TEL.0157-24-5107 FAX.0157-24-5163  
<http://www.kitamihakuyou.hokkaido-c.ed.jp/>

